

# 学校教育におけるユニバーサルデザイン（UD）教育の推進

平成 20 年 12 月 佐賀県教育庁学校教育課

## 1 ユニバーサルデザイン（以下UD）とは？

UDとは、「年齢、性別、身体的能力、国籍など個人の特徴にかかわらず、はじめから、すべての人にとって安全・安心で、利用しやすいように、建物、環境（空間・まちづくり）、製品、サービスなどをつくっていきこう」という考え方です。

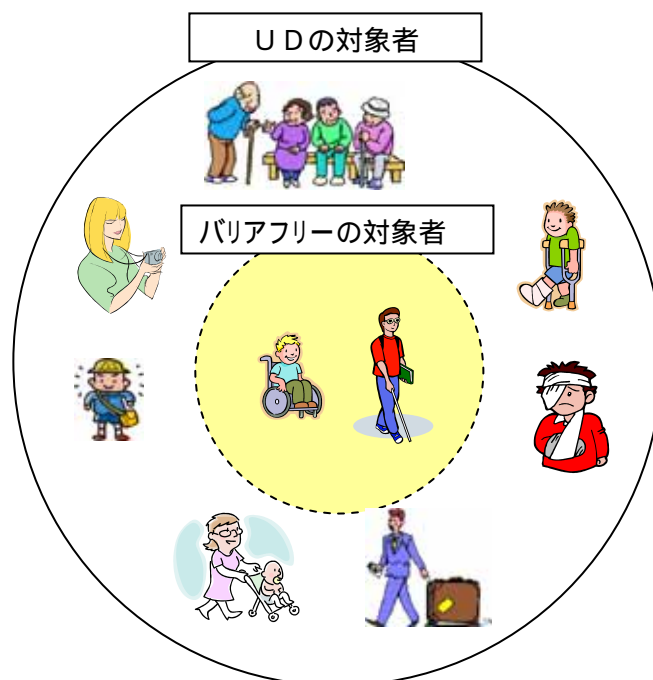
UD = universal design（普遍的なデザインというような意味）

アメリカの建築家・工業デザイナーであったロナルド・メイス氏が提唱

### 【バリアフリーとUD】

「バリアフリー」とは障害者等が利用できるように、もともとあった障壁（バリア）に手を加えて改善するという考え方です。玄関の階段にスロープを付けるなど、後から手を加えることを意味します。

これに対して「ユニバーサルデザイン」とは、障害者にとどまらず、社会に暮らす全ての人々が利用できるように、最初から考えて施設や生活用品等をつくっていくという考え方です。



## 身近にあるUDの事例



### 多目的トイレ

手すりやベビーシートが整備されて、障害者、高齢者、子ども連れ、妊婦の方等が利用できるようになっています。



### UD対応自動販売機

機械の中程に、上段の商品を選ぶためのボタンや、商品取り出し口が設けてあり、車椅子利用者や子ども、高齢者等が利用しやすいようになっています。



### UDを取り入れた文房具

左右両用のはさみや、軽い力でとじられるホッチキスなど、障害者だけでなく、力の弱い人も、そうでない人も使いやすいようになっています。

## 2 学校教育へのUD教育の導入

### 学校教育にUD教育を取り入れるねらい

UDは、年齢・性別・能力・障害のあるなし・国籍などによる違いを認めあう考え方です。

UD教育を通して、未来を担う子どもたちが、多様な個性や違いを理解して、当たり前のものとして身につけること、相手を尊重する意識や思いやりの心を育むことを目的とします。

### 【佐賀県教育の基本方針】(H20年度)

各学校で取り組まれてきた福祉教育やバリアフリーに関する教育なども踏まえ、総合的な学習の時間、道徳、特別活動、家庭科等の教科における交流教育や高齢者疑似体験、職場体験・就業体験、豊かな心の育成等について、UDの視点に立って実施することにより、児童生徒のUDへの理解を深める。

## 3 県内の学校における具体的な取り組み事例

### 障害者、高齢者の疑似体験、講話

- ・疑似体験装具などを使って障害者や高齢者の体験をする。
- ・障害者、高齢者、子育て中の方（妊婦のときの体験談も含む）などに、日常生活や移動する際に困ったことなどについて具体的に話を聞く。



### UDを取り入れた製品の体験、アイデア考案

- ・左右両用の文具や、手の力が弱くても持ちやすい食器などを実際に扱って体験する。
- ・UDを取り入れた製品・建物・道路などのアイデアを、自分たちで考える。

### まちや建物の中のUD調査・発見、みんなが住みやすいまちづくりの提案

- ・学校や店舗、公園、道路などを調査して、色々な立場の人の視点から見直して、使いにくいところや、多くの人が使いやすいよう工夫されたところを発見する。
- ・自分たちの住むまちの、学校や店舗、公園、道路などで、どういうところを変えれば、もっと多くの人に住みやすくなるかを、自分たちで考える。
- ・その結果を保護者や地域の人、地元の市町長などに報告する。

### 紙芝居やかるたを使ったUDの啓発活動

- ・UDの紙芝居やかるたをつくり、小・中学生などに啓発活動を行う。



佐賀県UDキャラクター  
ゆうちゃん

### こどもUD作品コンクール

佐賀県では、UDの普及啓発を目的として、小・中学生に作品を募集しています。

(各部門 知事賞2、優秀賞8、学校賞2)

- ・アイデアの部
- ・ポスター・壁新聞の部
- ・作文の部



平成19年度 知事賞受賞作品  
(アイデアの部)

直接、佐賀県地域福祉課まで御応募ください。(1月末締め切り)